川越市立仙波小学校　学校だより　　No.4　令和8年7月1日

せんば

学級数　26学級／児童数707名

学校教育目標　思いやりのある子　よく考える子　たくましい子



成長を実感する喜びを味わう子供たち

校長　原田　正則

１学期も残すところ、３週間あまりとなりました。学校では、一日一日を大切にしながら、１学期のまとめに取り組んでいます。

さて、今号では、「学ぶこと」についてお話します。「学ぶこと」は、自分自身の未来を開き、夢や希望をはぐくむことにつながります。そして、学校は、自分のよさを生かし、共に学ぶ喜びを味わうところです。一人一人の学びが、学級という集団で響き合い、自分に自信をもつことができるようになります。今、自分に自信のない、自己肯定感が低い子が多いと言われています。「できた喜び」「分かった喜び」をたくさん味わわせるとともに、お互いに「響き合う喜び」を味わわせることが大切です。

「響き合う喜び」を味わうためには、「思いやりの心」「約束を守ること」が必要です。自分勝手な行動をしている中では、響き合いは期待できません。お互いのよさを認め合い、「すごいね」「上手だね」「ありがとう」など、温かい言葉がたくさん聞けるようになることが大切です。このような温かい人間関係の中で学ぶことで、子供自身が意欲と自信を育てていきます。

また、よりよく学ぶためには、３つのポイントがあります。一つ目は、「早寝、早起き、朝ごはん」です。昔から「寝る子は育つ」と言われていますが、「育つ」とは、「心が育つ」と言うことだそうです。心の成長には、早寝が大切なのです。また、学ぶためには、脳はたくさんのエネルギーを使います。朝、しっかりごはんを食べてくることも大切です。二つ目は、「先生や友達の話をしっかり聞くこと」です。しっかり聞くためには、自分の考えをもって聞くことが大切です。自分の考えをもって聞くと、他の人はどう考えているのだろうと集中できるからです。三つ目は、「元気よく発表したり、ノートにしっかり書いたりすること」です。発表したり、ノートに書いたりなど、自分の考えをまとめることで考える力がつきます。

子供たちにとって、これまで以上に高まっていく自分を発見できる７月になるよう、引き続きご支援ご協力をお願いいたします。

７月２３日から、３９日間の夏休みになります。夏休みは、家庭や地域を中心として、これまでの成果を生かして、体験活動を充実させながら、心を成長させたり、学習内容を定着させたり、体を鍛えたりする大切な時期です。以下の点に留意され、有意義な夏休みとなるようご協力をお願いいたします。

１　生活のリズムを大切にし、自分で計画を立てて行動する。
２　進んであいさつをし、たくさんの人とふれあう。
３　五感を使って、いろいろなことを体験する。
４　交通事故や怪我、不審者などに注意し、自分の命は自分で守る。

